

## 子供の在宅事故を防ぐ 住まいのチェックリスト

しっかりおうちの安全対策をして、  
お子さんもパパ・ママも在宅ストレスを減らしましょう！



チェックポイント① 窓	
腰高窓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転落防止バーや格子の取り付け、もしくは、補助ロックを取り付けて10センチ以上開かないようにする。</li> <li>・窓によじ登れないよう、窓際にベッドやソファを置かない。</li> </ul>
出窓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出窓前に椅子や棚を置かないなど、登れないようにする。</li> <li>・窓用防犯用補助錠などを使い全部閉めておき、もし空気の入替えが必要であれば、子供の頭が挟まりにくい10センチ未満。</li> </ul>
ガラス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人の腰の高さ以下のガラスでぶつかりそうなどときには、衝突防止に強化ガラスを。もしくは飛散防止用フィルムを。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓の指挟み防止</li> <li>引き違い窓に俞指挟み防止機能がついている場合、必ず使用を。</li> <li>特に大きな引き違い窓を勢いよく開けた時、指を挟むと骨折の恐れあり。</li> <li>・ロールカーテンなどのコード</li> <li>ロールカーテンやブラインドのコードが首に絡まって窒息する可能性あり。</li> <li>走り回る子供の高さにコードがぶら下がらないように注意。</li> </ul>
チェックポイント② ベランダ・バルコニー	
室外機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柵側に室外機を置かない、置かならざるべく難す。</li> <li>配管や排気の都合で、室外機を限定された位置にしか設置できない場合には、背が高い(80センチ以上)格子状のカバーなどで覆い、室外機自体に上れないようにする。</li> <li>・周囲に踏み台になるようなものはおかない。</li> </ul>
チェックポイント③ ドア	
ドア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の頭の高さのレバーハンドルにはカバーを</li> <li>・蝶番の挟まり防止に、吊元の隙間にカバーをかける(最近では専用の既製品も)</li> </ul>
チェックポイント④ 家具	
コンセント 電源コード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気ケトル</li> <li>コンセントが低い位置にあると、使っている間に引っかかり、火傷する可能性あり。</li> <li>高い位置のコンセントか、ケトルを使う場所の検討を。</li> <li>・ノートPCなどの電源コード</li> <li>リモートワークで普段使わない場所にケーブルが転がっていると、子供がつまずいて転倒したり、ノートPCが引っ張られて落下して...の可能性も。</li> </ul>
テーブル デスクの角	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走り回った際に、目や頭などをぶつける可能性あり。クッション材などの設置を。</li> </ul>
浴室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お風呂の椅子などを使って登り、浴槽中で溺れる可能性も。残り湯を使って洗濯するときには必ず蓋を閉めるか、すぐに使う。</li> <li>・浴室のドアは外側からコインなどで施錠できるものも。ドアを施錠し、勝手に入れないような対策も検討を。</li> </ul>
チェックポイント⑤ 玄関・ドア・窓	
玄関ドアなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝手な外出を防ぐため、玄関ドアや窓に、鈴など音が出るものをマグネットや吸盤で取り付けしておくことや、ドアや窓の内側上部に補助錠を取り付けるなどの対策方法も。</li> </ul>

